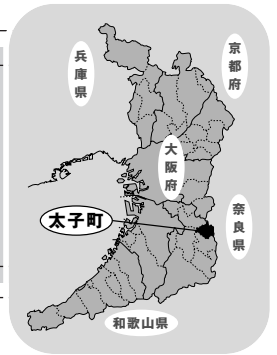


# わたしのまちのPR

ピーアール

## 太子町編



太子町は、大阪府の東南部に位置し、北を羽曳野市、西を富田林市、南を河南町に接し、また東は金剛生駒紀泉国定公園の二上山を介し、奈良県の香芝市、葛城市と接した、豊かな緑と歴史につつまれたまちです。町には飛鳥時代の天皇や皇族が葬られたと考えられる多くの古墳が群集しており、日本版「王陵の谷」とも呼ばれています。

また、町名は聖徳太子ゆかりの地であることに由来しています。

この太子町の魅力や特色について、政策室長の松村さんにお話をお伺いしてきました。



本日はどうぞよろしくお願ひします。

まずは、太子町の特徴について教えていただけますか。

よろしくお願ひします。

太子町は、たくさんの歴史資源にあふれた自然豊かな町です。町では、これらの豊かな自然と多くの歴史資源に恵まれた魅力あるまち「太子町」をもう一度見直し、広く太子町の特徴をPRするため、住民の皆さんからの応募をもとに、平成元年、「太子十景」を選定いたしました。その内のいくつかを紹介させていただきます。

まず、町の東にらくだの背のような美しい姿でそびえている二上山は、町のシンボルともいえる山です。二上山とは、北側の高い峰、雄岳（517メートル）と南側の低い峰、雌岳（474メートル）とをあわせて呼ぶ名で、かつては「ふたかみやま」とも呼ばれ、万葉集にも詠われるなど、数多くの歴史のエピソードに彩られた山として知られています。

この山の万葉の森では、桜咲き誇る春、緑深く映える夏、紅葉色に染まる秋、白く薄化粧する冬と四季それぞれの表情を楽しむことができます。特に、春は、小野妹子墓とともに絶好の桜のスポットになっています。

次に、町内を東西に貫く竹内街道<sup>たけのうちかいどう</sup>は、飛鳥時代に推古天皇によって作られた我が国最古の官道で、街道沿いの民家は、今なお往時の雰囲気を与えています。大和棟<sup>やまとむね</sup>と呼ばれる瓦屋根に茅葺きが乗っている大道旧山本家住宅は、国の登録文化財になっており、春と秋に一般公開を行っています。

また、叡福寺<sup>えいふくじ</sup>は、聖徳太子の墓を見守るために建てられた寺として有名で、国の重要文化財の指定を受けた聖霊殿や多宝塔などが並んでいるほか、貴重な美術品などが多く残っています。聖徳太子ゆかりのものが数多く残る寺です。

竹内街道



叡福寺



小野妹子の墓



さらに、今年は小野妹子を国使とする遣隋使が派遣されてからちょうど1400年という記念すべき年になります。大阪府でもこれを記念して、「平成の遣隋使」というイベントを開催されますが、この小野妹子の墓が、実は太子町にあります。このイベントを機に、本町への観光客が増えればと思っています。

なるほど、大自然と歴史遺産の融合した美しいまちですね。観光客も多いのではないのでしょうか。

そうですね。しかし、歴史ウォークなどのイベントには多くの参加者があるのですが、観光客の増加に直結していないことが課題です。

観光スポットに立ち寄る際のゲートステーションとしての役割を果たしているのが、「道の駅 近つ

道の駅 近つ飛鳥の里 太子



太子温泉



飛鳥の里・太子」と「太子温泉」です。

本町では比較的温暖な気候を活かし、古くからぶどう栽培が盛んで、秋のみかん狩りやいも掘りなども楽しむことができます。また、地元の特産品としては、太子ワインや太子もなかも有名です。

道の駅では、観光情報や交通情報を提供するだけでなく、これらの特産品や、新鮮な野菜などの販売を行っています。また、土・日・祝日には「わいわい朝市」を開催しています。

次に、太子温泉は、二上山のふもとに湧く、大阪府公認の天然温泉で、太子町を観光で訪れた人たちが気軽に入浴できるようになっています。

太子町といえば、「たいし<sup>しょうとくいち</sup>聖徳市」という珍しい市を実施しているとお伺いしましたが、どのようなのでしょうか。

たいし聖徳市は、太子町のまちづくり、顔づくりを目指し、住民主体の青空市を開催することにより、住民のふれあいの場の創造と地域の活性化、町のまちおこしに寄与するものとして住民の手作りで行われています。

このイベントは実行委員会主催で、毎月第三日曜日に、「太子・和みの広場」にて開催されており、毎回30前後の出店が並びます。

#### たいし聖徳市七カ条宣言

- 一条 聖徳市は、太子町の顔づくりをめざします！
- 二条 聖徳市は、住民主体の手づくり青空市とします！
- 三条 聖徳市は、住民の交流とふれあいの場をめざします！
- 四条 聖徳市は、地域の活性化を図ります！
- 五条 聖徳市は、まちおこしの起爆剤としてがんばります！
- 六条 聖徳市は、叡福寺、聖徳太子を全国に発信します！
- 七条 聖徳市は、サークル活動の披露や紹介を兼ねた和みの座をめざします！

たいし聖徳市は、町からの補助を受けること無く

たいし聖徳市開催風景



完全自立した取組として実施され、運営資金は現在のところ、出店者の出店料及びスポンサー広告料で成り立っています。

また、地元の協力を得て、ボランティアの方々が聖徳市のホームページを作成し、運営されています。

実行委員会では、聖徳市を通じて活発で明るく調和あるまち創りを目指しているため、ふれあいと地域の自立と活性化のために活動されるボランティアスタッフを募集されています。老若男女を問わず多くの住民が立ち上がって下さる事に期待を寄せられています。

なるほど、町をよくしたいという住民の熱意が伝わってきますね。

このような協働の取組は盛んにおこなわれているのですか。

そうですね。本町ではこれまで「自分たちのまち自分たちでつくっていく」という意識の中で、協働の取組を行ってきました。その一つに、「ふれあいTAISHI」があります。住民参加型のイベントは全国各地で実施されていますが、このイベントは子どもを対象とした珍しいもので、町の人気イベントとして、多くの住民に愛されています。

また、本町では昨年度、第4次太子町総合計画を策定し、太子町まちづくり協働宣言「みんなでめざまします 豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまち太子町」を行いました。この宣言のもと、住民と協働で目指していく具体的な目標として聖徳太子の17条憲法にちなんで17条のパートナーシッププランを設定しました。

まちづくりを効果的に進めていくためには、それ

が、「何のために行われるのか」という目標を設定し、その効果を測る基準を明確にすることで、住民のまちづくりへの主体的な参加を促していくことが重要です。この計画は、愛着と誇りを持てるまち（教育・文化・人権）、いつまでも快適で生き活きできるまち（保健・福祉・環境）、みんなの力で安全と安心を守るまち（安全・安心）、地域の魅力アップ（産業）の4つに大きく分類しており、パートナーシップ指標を設定し、住民と行政がともに力を合わせて、その達成を目指します。

住民の皆さんとの協働が活発に行われていることが感じられます。

次に、太子町の風物詩について教えていただけますか。

本町には、町の風物詩として二上山の<sup>がんとんほつ</sup>元旦初登りや、<sup>えいふくじだいじょうえしき</sup>叡福寺大乘会式、<sup>だけ</sup>岳のぼり、<sup>しながじんじゃなまつ</sup>科長神社夏祭りがあります。

元旦初登りには二上山山頂に毎年多くの参加者があります。

叡福寺大乘会式は「太子まいり」と呼ばれ親しまれており、聖徳太子の命日にちなんで4月11日と12

叡福寺大乘会式



科長神社夏祭り



日の両日に行われます。両日は、境内に多くの露店が並び、大変な賑わいとなります。

岳のぼりは、町のシンボルでもある二上山を、清掃活動を行いながら登るイベントで、地元の小学生のほか、奈良県側からの参加者もあります。

次に、科長神社夏祭りは、7月の第4日曜日（H19は第5日曜）に行われ、神輿と地車が繰り出すこのあたりで唯一の夏祭りです。地車は5つの町会からそれぞれ1台ずつでて、威勢のいい地車囃子にあわせて若者たちが勇壮に曳きまわします。

その他、太子町として力を入れている取組について、教えていただけますか。

本町は、平成12年度の国勢調査において、府内子どもが1番多いまちとなっていました。緩やかに伸び続けてきた人口も、時代とともに伸び率が鈍化傾向となっています。そこで、太子17条のパートナーシッププランの中で、「地域で支える子育て相談・支援体制の充実」を掲げ、小児救急医療24時間体制、休日保育・延長保育の充実、放課後児童会の開設時間の延長のほか、子育て支援センター、つくしんぼ教室、こんにちは赤ちゃん訪問事業、思春期福祉体験（町立中学校）などを行っています。

また、今年、地元の上宮太子中学・高校と協働で、「竹内街道お掃除隊」を発足させました。これは、地元の歴史遺産である竹内街道とその周辺の散策ルートをきれいにしようとするもので、生徒に地元の歴史遺産を身近に感じてもらうとともに、環境美化の取り組みを通じて愛着心を育んでもらいたいとの期待が込められています。同活動には、中学3年生か

結団式



ら高校2年生までの約330人が参加し、今年度は4回のごみ拾い活動を計画しています。

このように、町民と行政の協働のまちづくりを積極的に推進するとともに、「目配り、気配り、思いやり」で美しい子育て環境を創出し、少子化に歯止めをかけることで、まちを活性化させたいと考えています。

また、本町では夏になるとホテルが舞う姿を見ることが出来ます。このホテルを見ることのできる環境を守るため、川を清掃して自然環境を守っている活動が昨年4月4日に「大阪 アドプト・リバー・唐川ホテルを守る会」として大阪府から認定されました。

今後も住民の皆さんの手によって、未来の子どもたちにすばらしい風景を残すため、ホテルの生息する自然環境の維持に努めていきます。

最後になりますが、今後のまちづくりなどについて教えていただけますか。

本町は聖徳太子ゆかりの地として有名ですが、同じように聖徳太子をゆかりの地としている町として、兵庫県の太子町と、奈良県の斑鳩町があり、太子の「和の精神」のもとに、教育・文化・観光・経済等の交流により相互の理解と親善有効を深め地域社会の発展と振興に寄与するために、3町で友好都市の提携を行っています。この提携も今年で10周年を迎えます。これを機に、提携内容を充実させることを検討しています。

また、大阪芸術大学と連携し、地元住民の参加のもとでワークショップを開催するなどの活動もスタートしています。このような活動から地域の活力を生み出す人材発掘や原動力が芽ばえ、環境面全体への波及効果を生み出すことにつながるのではないかと期待しています。息の長い取組ですが、「塊よりはじめよ」と考えています。

住民との協働で、豊かな自然・歴史文化を活かしたまちづくりに一層躍進されることを期待しております。

本日は、お忙しい中、ありがとうございました。